

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年8月1日時点)

➤ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設に対する攻撃を継続**している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約6万~7万人 (CSIS2月27日)

死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)

: 死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: 死者最大約1万3千人 (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者9,369人以上、負傷者1万6,646人以上 (UNOCHA7月31日)

- 露通信社は、東部ドネツク市及び南部ザポリヅジャ州の集落に対する「ウ」軍の砲撃があり、合計6人が死亡したと報道 (7月31日)
- 露国防省は、「本日未明、モスクワ市内及びモスクワ州の目標物を対象としたキエフ政権のテロ攻撃の試みは阻止された。ウクライナの無人機2機は郊外で防空システムにより破壊、残る1機は電子戦手段によって制圧され、モスクワ市内の複合施設に墜落した」旨発表 (8月1日)

- 「ウ」当局は、中部クリヴィー・リフで露軍によるミサイル攻撃があり、少なくとも4人が死亡、53人が負傷したと発表 (7月31日)



- 「ウ」大統領は、「ウ」軍がスタロマイオルスケを奪還」と発表 (7月27日)
- 「ウ」国防次官は、「この1週間、「ウ」軍はバフムト正面で南翼を前進し、2kmの奪還に成功、同正面の総奪還面積は37km<sup>2</sup>になった」とし、「南部正面では1週間で12.6km<sup>2</sup>奪還し、合計で204.7km<sup>2</sup>奪還」と発表 (7月31日)

- 露国防省は、「ウ」軍が攻勢を再開した」とした一方、「ウ」軍はわが軍の反撃により大損害を出し、攻勢は成功していない」と指摘 (7月26日)

- ゼレンスキー大統領は、クリミア大橋が露軍の弾薬供給路になっており、「ウ」軍の軍事目標であるとして、「無力化されなければならない」と指摘 (7月22日)
- 「ウ」国防相は、クリミア半島内の弾薬庫等について、「これはいずれも正式な攻撃目標だ」と発言 (7月25日)
- 「ウ」メディアは、「ウ」国防省参謀本部戦略コミュニケーション局の情報として、「ウ」軍が「ウ」本土とクリミア半島を結ぶチョンハル橋を攻撃したと報道 (7月29日)

- 主要都市 (下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等